〔令和５年度入学試験問題：後期〕

後

小　論　文

（120分）

人間文化学部

地域文化学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで，この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。また，解答開始の合図があるまで，筆記用具を使用してはいけません。
2. 問題は３**学科共通**です。
3. 問題は２題で，８ページあります。
4. 解答開始後，**解答冊子の表紙所定欄に受験番号，氏名をはっきり記入**しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
5. **解答は，すべて解答冊子の指定された箇所に記入**しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがあります。
6. 解答冊子は，どのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後，問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

問題 1　次の文章は，伊藤亜紗著「思い通りにいかないことに耳を澄ます」の一部である。これを読んで，後の**問い**（**問 1**，**2**）に答えよ。

◇M5(502—54)

（福岡伸一・伊藤亜紗・藤原辰史著『ポストコロナの生命哲学』所載。集英社，2021年。出題にあたり縦書きを横書きに改め，一部漢字を算用数字に改めるなどの必要な改変を行っている。）

問 1　下線部①「『さわる』と『ふれる』」は，どのように違うのか。またそれらの二つの異なる動詞が存在する理由を，筆者はどのように考えているか。本文中の言葉を用いながら説明しなさい。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。

問 2　下線部②「触覚的な人間関係のおもしろさ」について，あなたはどのように考えるか。具体例をまじえつつ，あなたの考えを論じなさい。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。

問題 2 次の文章は，塙幸枝著『『ふさわしさ』をめぐるコミュニケーション　読めない空気』の一部である。これを読んで，後の**問い**(**問** 1，2)に答えよ。

（池田理知子・塙幸枝編著『グローバル社会における異文化コミュニケーション―身近な「異」から考える』所載。三修社，2019年。出題にあたり一部を改変した。）

問 1　下線部で述べられている「ふさわしさ」のもつ暴力性について，問題文全体を読んだうえで筆者の考えをまとめ，またあなた自身の考えを述べなさい。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。

問 2　筆者は，どのようにすれば「ふさわしさ」の呪縛から逃れることができると考えているのか。筆者の考えをまとめ，またあなた自身の考えを述べなさい。字数制限は設けないが，解答用紙の枠内に収めること。